



Saica NEWS

Saitama international cooperation action News

2019
Vol.1



JICA草の根技術協力事業 フォローアップ



維持管理課 石川係長，給水工事課 関根主事

2018年6月18日にスタートした草の根技術協力事業(水道公社における上水道管路維持管理能力向上支援事業)ですが、2年目の最初の活動として、2019年6月2日～15日に首都ビエンチャン水道公社、ルアンパバーン県水道公社及びカムアン県水道公社の3水道公社へ2名が派遣され、約2週間と短い期間でしたが、昨年度の活動成果の定着・進捗確認・活動支援を行いました。昨年度は主に、OJTを通じて配給水管施工マニュアル作成等現場での施工管理改善に向けた支援や配給水管材料の適切な管理に向けた支援を行ってきました。特に、管回りの砂埋戻しや耐圧検査の実施に関しては、重点的に支援を行ってきました。今回のフォローアップ派遣では、ラオス人による配給水管施工マニュアル(案)の作成や配給水管材料倉庫内の改善等で活動成果の定着・進捗が確認できた一方で、3水道公社で定着・進捗の程度にバラつきがあり、活動が停滞している公社も確認できたため、今年度は活動が停滞している水道公社への派遣期間を増やし、活動の立直しを図る予定です。



活動報告 @公共事業運輸省



配水管土被り検測状況
@ルアンパバーン県水道公社

Before



After

配給水管材料倉庫内改善状況
@カムアン県水道公社

JICA技術協カプロジェクト 野口短期専門家派遣

2018年5月21日にスタートしたJICA技術協力プロジェクト(MaWaSU2)の今年度の短期専門家として、当局から維持管理課の野口主任(土木担当 3ヶ月)が2019年6月17日に着任しました。

主な活動は、水道技術基準の作成や水道事業に関連するデータ管理の全国展開等の支援を行い、初めての海外派遣で慣れない環境の中、懸命に取り組んできました。



技術基準(管路)OJT @カムアン県水道公社

ラオス国からの研修員受入 (JICA技術協力プロジェクト)

2019年8月19日～23日にかけて、ラオス国公共事業運輸省水道局長以下6名の幹部級カウンターパートを対象とした本邦研修が実施されました。

本研修は、日本の水道における国・県・水道事業者及び第三者組織の役割と活動、相互の関係性を学ぶことにより、ラオス水道セクター改善に向けた理解を深め、また関係組織間の共通認識の醸成を図ることを目的としています。

当局では、8月21日に研修員を受入れ、経営企画課高橋主任が講師となり、水道事業者の責務・役割、計画施工について講義を行いました。

現在、ラオスでは、国・県・水道事業者の責任区分が不明確な状況であり、本来は県の責任区分の事業についても国が管理しているケースが多く、水道法に関する国と県の解釈が統一されていない問題が存在しています。



本邦研修風景

ブラジル国から研修員受入 (JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業)

2019年7月24日に「ブラジル地下埋設物管理プラットフォーム導入に向けた案件化調査」の本邦研修が当局にて実施されました。

ブラジルのサンパウロ市では、埋設物工事に関する管理業務の電子化や情報共有の仕組みがなく、埋設物の折損事故や工事の長期化を引き起こし、それに伴う交通渋滞など様々な課題があり、今回8名の研修員が「地下埋設ライフラインを共同管理する仕組みの構築」を学ぶため、さいたま新都心にある共同溝について、維持管理課より説明を受け、現地視察を行いました。

さいたま市とラオス国の水道分野の強化に向けた協力に係る報告会開催

2019年8月21日のJICA技術協力プロジェクトの本邦研修に併せて、2016年12月に締結した「さいたま市水道局とラオス人民民主共和国水道公社における水道分野の強化に向けた協力に関する覚書」に基づき、中間年に当たる今年度に報告会を開催しました。

報告会では、ラオス国公共事業運輸省水道局長及び首都ビエンチャン水道公社総裁より「ラオス国の水道の現状」について報告があり、本市からの25年以上にわたる技術協力に感謝していることやまだ多くの課題があり、引き続き本市に支援をお願いしたいとのことでありました。

また、本市より長期派遣されている園田チーフアドバイザーより「JICA技術協力プロジェクト(MaWASU2)の現状」、経営企画課高橋主任より「JICA草の根技術協力事業の現状」について報告しました。



ポマー水道局長からの報告

8ヶ国から研修員受入 (JICA 2019年度 課題別研修)

JICA2019年度課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計(A)」は、カンボジア・エジプト・エリトリア・ミャンマー・ルワンダ・東ティモール・イエメン・ラオスから各1名、計8名が参加し、(1. 水源・取水) (2. 浄水・水質) (3. 導送配水) (4. 事務・経営) (5. 演習)の5テーマと幅広い内容で2019年5月20日から約2ヶ月にわたり実施されました。当局では、7月9日に北部・南部水道建設課にて研修員を受入れ、「(講義)配水管布設における開削工法」、「(視察)開削工法配水管布設現場」を行いました。

●JICA技術協力プロジェクトの詳細は

MaWASU1 ⇒ <https://www.jica.go.jp/project/laos/012/index.html>

MaWASU2 ⇒ <https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html>

発行：さいたま市水道局
業務部経営企画課経営企画係
TEL 048-714-3185